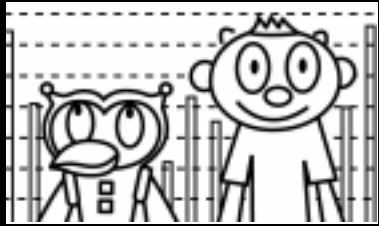


6年

算数 学習相談		学研教育情報資料センター
		小 / 算数 / 6年 / 数量関係 / 資料の調べ方 / 理解シート

「のべ」の文章題は、どのように考えるの



次の問題を解いてみましょう。

ある仕事をするのに、3日間は毎日5人ずつ、2日間は毎日4人ずつかかったとします。この仕事を1人ですると、何日かかるでしょう。
どの人も、同じ力をもった人として考えます。

[ポイント] ① わかっていること、求めるものを書きましょう。

- ・3日間は、毎日5人ずつ働きます。
- ・2日間は、毎日4人ずつ働きます。
- ・1人で働くと、何日分かを求めます。

② 1日あたりの1人分の仕事を単位として、仕事の量を考えましょう。

- ・3日間は、毎日5人ずつ働く仕事の量を考えましょう。
 $3 \times 5 = 15$ (日)
- ・2日間は、毎日4人ずつ働く仕事の量を考えましょう。
 $2 \times 4 = 8$ (日)

③ 全体の仕事の量を考えましょう。

- $15 + 8 = 23$ (日)
- ・のべ日数は、23日になります。
 - ・1人でこの仕事をするので、23日間かかると考えます。
 - ・全体の仕事の量は、
 $3 \times 5 + 2 \times 4 = 23$ (日) と計算することもできます。

同じ人が働いても、
別の人とみなして、
人数を考えるよ。



答え 23日

[覚えておこう] 3日間働いた人が5人いれば、 $3 \times 5 = 15$ で、のべ15日の仕事です。
逆に、 $5 \times 3 = 15$ のように、人数をもとにして考えると、のべ15人の仕事です。